

浦頭引揚記念資料館

1 設置目的

太平洋戦争終結に伴い海外から本市浦頭に引き揚げられた人々の足跡を郷土の歴史的遺産として後世に伝え、恒久平和を祈念するため、同地に浦頭引揚記念資料館を設置する。

(浦頭引揚記念資料館条例 第1条)

2 館の事業概要

○資料展示の基本的な考え方、展示内容

- ・全国の引揚者から寄せられた寄贈の品を展示している。
- ・資料館の管理は、社団法人西海橋観光協会に委託している。資料館に常駐する管理員は、展示説明員でもあり、来館者に対して、引き揚げ当時の様子など説明をしている。
- ・展示物

パネル展示、引揚経路模型（検疫所～援護局）、検疫所の消毒器具、引き揚げ当時の着衣、日記、リュックサック、引揚証明書、書籍など

○所蔵資料数、展示資料数

展示資料 約 305 点

○資料の収集方法

寄贈によるもの。

○展示以外の事業（図書閲覧、調査研究など） など

今のところなし。

3 運営上の工夫

○展示説明員の配置

管理委託先の管理員が展示説明員も兼ねている。

○ICTの活用（ホームページにおける工夫、データベースの構築など）

今のところなし。

○来館者を増やすための取組

浦頭引揚記念平和公園のパンフレットを作成し、来館者に配布するほか、観光客などの来館希望者の事前告知に活用している。また、観光案内所などに設置している。

平成10年2月 「引揚港・佐世保（浦頭）を偲ぶ全国の集い」を開催。

平成12年1月 「かえり船」歌唱碑を建立。

○若い世代へ訴えかけるための取組 など

市内の中学校1年生を対象に、佐世保市の歴史遺産を見学や調査等の体験的な学習を通して、具体的に理解する「ふるさと歴史発見事業」行っているが、その中に資料館の見学も含まれている。